

第456回 市議会定例会（6月3日）

意見が分かれた議案の賛否一覧

議案氏名 件 名	議決 結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
		高子 秀明	佐藤 龍彦	伊藤 勝美	澁谷 政義	欠 番	沼倉 啓介	高橋 純斎	小川 正人 （議長）	平間 知一	保科善 一郎	佐久間 儀郎	四電 英夫	大森 貴之	森 建人	角張 一郎	菊地 忠久	佐藤 秀行	松野 久郎
議提第2号 公立刈田総合病院存続のため、白石市外二 町組合が指定管理者制度を活用した公設民営 による運営を行うことを求める意見書	原案 可決	×	×	×	×	／	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」⇒賛成した議員、「×」⇒反対した議員、「欠」⇒欠席した議員、「議」⇒議長のため表決に加わらない
 ※議提第2号は採決の結果、可否同数（賛成8反対8）となり、議長裁決により原案可決となった。

◎議提第3号

インボイス制度の実施
延期を求める意見書

（全文）

新型コロナウイルス感染症の収束や景気回復が見通せず、中小事業者・個人事業主の経営困難が続く中、2023年10月からのインボイス制度（適格請求書等保存方式）実施に向け、2021年10月1日からインボイス発行事業者の登録申請が開始されている。

消費税免税業者を取りから排除しかねないインボイス制度は、農業者、フリーランスも含めた中小事業者・個人事業主が、取引先や元請、業務委託先から取引を断られる、値引きや単価引き下げを求められる、課税業者になるよう要求される、消費税納税を余儀なくされるなど、事業者間の取引慣行を壊し、免税点制度を実質的に廃止するものである。

立て続けの消費税増税やコロナ禍で、時短・営業自粛等を余儀なくされ、地域経

済が疲弊する中で、中小事業者・個人事業主の経営危機は深まっており、インボイス制度に対応できる状況ではない。多くの中小企業団体や税理士団体も、「凍結」「延期」「見直し」を表明し、現状でのインボイス制度実施に踏み切ることには懸念の声を上げている。

コロナ禍を克服し、新しく構築すべき経済・社会においても、地域に根ざして活動する中小業者・個人事業主の存在が不可欠である。よって、国および政府においては、中小事業者・個人事業主の事業存続と再生、ひいては日本経済振興のため、下記事項について要望する。

1. インボイス制度の実施を延期すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

市政に
対する
一般質問

〓〓8名の議員が質問〓〓

6月定例会の一般質問は、6月15日・16日の2日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

菊地 忠久 ホワイトキューブの復旧について 他

佐藤 秀行 本市の教育について 他

高橋 純斎 公立刈田総合病院について 他

佐藤 龍彦 民生委員について 他

佐久間儀郎 外国人観光客の誘致について 他

大森 貴之 市営住宅の空き室対策について 他

松野 久郎 福島県沖を震源とする地震からの復旧状況について 他

四電 英夫 子どもの水難事故防止対策について 他